

令和6年度 亀山市立図書館運営評価

基本理念	実施方針	項目	測定項目	項目	活動指標	測定値 R6	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	評価	今後の対応
基本理念「学びの場からつながる場へ」	① 図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます	1 経営・運営・管理状況に関する評価	1 図書館費決算額	1 図書館費決算額	139,510 千円	<p>① 図書館を核とした身近な読書環境づくりを進めます</p> <p>めざす姿 良質な図書館サービスの提供が図られている</p> <p>社会的変化・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に掲げた数値目標を達成している。 ・長期にわたり安定した良質なサービスが提供できる体制が整備されている。 ・先進事例の研究により、サービスの向上につながっている。 ・業務統計におけるサービス数量の管理ができています。 ・図書館サービスを維持・向上できるよう予算が確保されている。 ・職員の防犯、防火、個人情報保護などリスクへの研修や対応が図られており、安全性、信頼性が高まっている。 <p>【総合計画 後期基本計画】 2.健康で生きがいを持てる暮らしの充実 (5) 学びによる生きがいの創出 ○指標 図書館入館者数 現状値 61,500人(令和2年度) 目標値 230,000人(令和7年度)</p>	<p>① 利用者数の維持・さらなる増加として、イベントの開催や読書活動の普及を図り、市民がより日常的に利用できる環境づくりを推進しました。令和6年度の入館者数は、277,347人で、前年度(276,338人)と比較しても安定した推移を見せています。また、令和6年10月には、入館者数50万人を達成しています。</p> <p>② 新たなイベントの企画や運営の調整に時間を要した分、地域情報の発信拠点としての課題があります。満足度の向上として、読書活動や地域情報発信の拠点としての機能に重点を置き、これに関する満足度を向上させる工夫が必要です。</p> <p>③ 図書館ネットワークの拡充を図るため、市内全域でサービスを提供できるよう、「地域読書活動拠点」への取組を進める必要があります。</p> <p>④ 毎月開催のイベント情報を小中学校への配布から保育園・幼稚園にも拡大し情報提供を行いました。</p>	<p>① 統計データや利用者アンケートの分析を活用し、多角的な視点から利用者満足度の向上を図ります。</p> <p>② 財政状況の影響により、市の図書館予算は今後、緊縮せざるを得ない状況にあります。既存の設備や体制を最大限に活用し、サービスの継続と質の向上に努めていきます。</p> <p>③ まちづくり協議会や福祉施設などと継続的に意見交換を行い、「地域読書活動拠点」の取組の手法を検討していきます。</p> <p>④ 年齢に応じたブックリストの作成や、親子でも楽しめるイベント情報の活用を進めていきます。</p>		
			2 図書館の適切な経営に関する評価	2 図書館費のうち、一般管理費の決算額	96,389 千円					
			3 業務統計	1 入館者数	277,347 人					
		2 貸出点数		291,960 点						
		個人貸出点数		282,994 点						
		団体貸出点数		9,666 点						
		居住地別貸出点数の偏差		11 点						
		年代別貸出点数の偏差		51,710 点						
		3 貸出人数		64,041 人						
		個人貸出人数	62,321 人							
	団体貸出数	1,720 件								
	居住地別貸出人数の偏差	26 人								
	4 運営の健全化	1 リスクへの対応(訓練や危機管理研修の実施回数)	1 回							
		4 予約件数	15,994 件							
		5 電子図書貸出・閲覧回数	51,474 冊							
		6 電子図書貸出人数	10,844 人							
	7 雑誌スポンサー制度活用点数	13 点								
	② 図書館サービス実施計画を着実に進めます	5 人材育成による職員の能力・資質向上	1 職員研修の受講回数	15 回						
			2 受講職員による情報共有回数	15 回						
		6 市民交流	1 地域読書活動拠点訪問回数	22 回						
2 行政出前トーク等職員派遣回数			1 回							
3 図書館協議会開催数			3 回							
4 図書館ボランティア会議等開催数			4 回							
5 交流イベント参加団体数			23 団体							
6 図書館ボランティア団体活動回数			76 回							
7 図書館ボランティア団体以外の活動回数			42 回							
8 行政連携展示件数			58 件							
7 情報発信	1 図書館ホームページへのアクセス数	74,682 件								
	2 図書館ホームページ更新回数	52 回								
	3 パスファインダー発行回数	0 回								
	4 ニュースレター発行回数	8 回								
8 図書館サービス認知度	1 レファレンスサービス	26.3 %								
	2 予約制度	84.5 %								
	3 リクエスト制度	81.5 %								
	4 データベース	35.0 %								
	5 返却お知らせメール	39.0 %								
めざす姿 学びと交流の場となる図書館	<p>社会的変化・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館における目的を委託事業者とも共有化し、スタッフプライドの意識が高い職員の育成が図られている。 ・地域へ定期的に訪問し、講座の開催や地域との連携による読書イベントが開催されている。 ・図書館ボランティアが、図書館職員とともに目的を共有し、自己の活動を魅力的に展開發揮している。 ・生涯学習支援として、市民活動成果の場など連携する企画数が増えている。 ・図書館サービスやお知らせなどわかりやすく得ることができるホームページやパスファインダーの情報発信が行われている。 ・図書館利用カードの新規登録者数が増加している。 ・図書館ボランティア団体の活動が毎年継続実施されている。 ・市民を中心とした利用者が、図書館サービスを理解し、サービスを楽しんでいる。 	<p>① 図書館ボランティア、学校図書館司書に呼びかけ、「子どもと本をつなぐ大人の役割」をテーマにした研修や修理本研修を実施しました。図書館サービスに関わる意識の共有を図ることができました。</p> <p>② 図書館では、定期開催イベントに加え、開館2周年に合わせて、ボランティア団体と連携したイベントを開催しました。活動の様子はLINEなどのSNSを活用して発信し、図書館の利用促進に努めました。</p> <p>③ 図書館サービス利用にかかるパスファインダーを作成し館内での配布や市ホームページへの掲載を行い、図書館サービスの周知に努めることができましたが、まだ一部のサービスの周知に限定されています。</p> <p>④ 社会見学や職場体験の受け入れを行い、体験項目に「ビブリオバトル」を組み込み、その魅力を伝えてきました。主に小・中学校を対象としており、さらなる拡充が求められます。</p> <p>⑤ 図書館からの情報発信として「としまかんたより」を年8回発行しました。</p>	<p>① 図書館が主体となって実施する活動と、ボランティアに担ってもらうことを整理し、それぞれの年間の動きを共有します。</p> <p>② これまでの共催イベント開催の実績を踏まえて、施設利用のルールに基づき、施設の利用促進を進めていきます。</p> <p>③ 利用者がレファレンスを身近に感じられるよう、利用しやすい環境づくりも取組みます。</p> <p>④ まちづくり協議会や市民団体、各部署等の開催行事にあわせて図書館サービスの提供(出張図書館等)や周知を行っています。</p> <p>⑤ 「としまかんたより」の発行プロセスの効率化を図り、効果的な内容や状況に即した発行を目指していきます。</p>							

令和6年度 亀山市立図書館運営評価

基本理念	実施方針	項目	測定項目	項目	活動指標	測定値 R6	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	評価	今後の対応							
基本理念	実施方針	項目	測定項目	項目	6 新着お知らせメール	30.0 %	実施方針	めざす姿・社会的変化・成果	評価	今後の対応							
					7 電子図書館	60.0 %											
					8 座席予約サービス	83.3 %											
					9 フリーWi-Fi	70.0 %											
					③	9 蔵書状況					1 蔵書数(4月1日時点)	177,292 冊	③ 蔵書計画に基づいた、図書資料の収集や保存を進めます	めざす姿 地域社会の情報源となる図書館資料の充実	社会的変化・成果 ・地域課題解決につながる情報や知識が得られる機能が高まっている。 ・各関係部署からの行政資料が蓄積されている。 ・レファレンス業務の認知度が上がっている。 ・「私たちの亀山アーカイブ」の情報が更新されている。 ・地域に関するレファレンスが増えている。 ・多様な地域の情報が集まっている。	①蔵書数177,292冊、前年度と比較して5,910冊の増加となりました。 ②電子書籍1,031点(内読み放題パック53点)、DL-マガジン269紙、合計1,300点、また学校との連携として読み放題パックを導入し、タブレットを使用して朝読などに活用されました。電子図書館のコンテンツも増え、閲覧できる図書館資料の幅が拡大しました。 ③地域まちづくり協議会の刊行物の体系的な収集を行う仕組みができました。また、全庁的に行政資料について図書館に収集・配架する意識共有が進みました。 ④館内でのレファレンスの他、メールでのレファレンス対応を行い、その結果を図書館情報システム内にデータベースとして蓄積を図りました。前年度から180件(計291件)の対応した情報を蓄積し、レファレンス対応に活用しています。 ⑤「私たちの亀山アーカイブ」の更新に関する情報収集ができず、更新に至りませんでした。 ⑥蔵書計画を上位の計画期間とあわせることとし、計画期間の延長と一部内容を追加する改定を行いました。	①②資料収集の重点、蔵書全体のバランス、利用者ニーズなどを踏まえた蔵書を進めていきます。 ③収集した地域の情報について、効果的な配架を進めていきます。 ④レファレンス情報の蓄積を引き続き行っていきます。 ⑤次年度に、文化に関する情報の更新を予定しています。 ⑥改定した蔵書計画に基づき、利用者ニーズなどを踏まえた蔵書を進めていきます。
					2 図書資料年間購入冊数	7,086 冊											
					3 寄贈資料登録冊数	1,051 冊											
					4 雑誌年間購入種類	55 種類											
					5 新聞年間購入種類	11 種類											
					6 電子書籍コンテンツ数	1,300 件											
7 年間受入数	5,257 件																
8 ひみつ本更新回数	0 回																
9 行政資料収集周知回数	1 回																
④	10 子どもの読書活動推進状況	1 中高校生の企画運営参加イベント実施回数	0 回	子どもの読書活動を推進します	めざす姿 読書を通して希望に輝く心豊かな亀山の子どもたち	社会的変化・成果 ・18歳以下の図書館利用カード登録者数が増加している。 ・乳幼児連れの家族のイベント参加者が増加している。 ・図書館が学校や幼稚園等の社会見学や遠足に利用されている。 ・学校との連携企画によるイベントが常態的に行われている。 ・ボランティアの子どもに向けた活動スキルが向上している。 ・本好きな子どもが増えている。	①保育園や幼稚園を訪問し、読み聞かせや手遊びを通じて、園児たちに絵本の楽しさを伝えることができました。本に親しみきっかけを作り、もっと読みたいと思ってもらえる時間を提供しました。 ②行政機関や市民活動団体と連携し、共催イベントを開催しました。関連図書の展示等を通じて、本に親しむ機会を提供し、読書の魅力を伝えました。 ③図書館の本を学校図書館で借りることができる「ほんくる。」の運用の体制を整えました。 ④図書館という場を生かし、学校への行きづらさを感じる児童生徒の居場所として「サークルルーム」の取組を進めました。 ⑤子どもたちの発達段階に応じた本やイベントの情報発信を開始しました。 ⑥学校と連携して、11月から電子図書館を朝の読書等で活用できる環境を整えました。 ⑦新入学の高校生に利用案内や利用カードの作成の働きを行いました。	①子どもたちの読書習慣を定着させるため、図書館と学校が連携し、幼少期からの読書の機会を増やしながらか読書活動を推進していきます。 ②子ども向け、大人向けのイベント開催の割合が偏らないように企画を考えて進めます。 ③「ほんくる。」の利用促進のため、学校等との連携を行い、図書館のおすすめ本の情報を案内できるように取組みます。 ④図書館が児童生徒等の居場所となるよう、利用についての情報を発信し、取組んでいきます。 ⑤図書館のおすすめ本として、子どもたちの発達段階に合わせた情報発信を行っていきます。 ⑥電子図書館の学校運用開始に伴い、利用促進のため、電子書籍の更新を行い、読書習慣につながるような取組を学校と連携して進めていきます。 ⑦視察や社会見学にあわせて、利用カード作成の案内を行います。									
2 子ども向けテーマ展示回数	29 回																
3 18歳以下の新規登録者数	931 人																
4 18歳以下の年間貸出冊数	83,483 冊																
5 保育所等への出張よみかきせ等の訪問回数	24 回																
6 子育て支援センターサテライトの開催数	24 回																
7 ほんくる。利用の貸出点数	131 点																